

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 6年 6月 28 日</p> <p>堺市長 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 堺市堺区三宝町8-374</p> <p style="text-align: right;">氏 名 三菱マテリアル株式会社 三宝製作所 所長 黒須 孝 電話番号 072-233-1161(代表)</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	三菱マテリアル株式会社 三宝製作所
事業場の所在地	堺市堺区三宝町8-374
計画期間	R6年4月1日～R7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	23:非鉄金属製造業
②事業の規模	製造品出荷額:109,563百万円
③従業員数	537人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (R5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	鉍物系廃油
	排 出 量	330 t	640 t
	(これまでに実施した取組) 油水分離により廃油発生量抑制 廃棄物の分別化の徹底 脱水処理装置による無機汚泥の減量化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	鉍物系廃油
	排 出 量	320 t	620 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き上記内容を継続する。 油水分離により廃油発生量抑制		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラ、廃油、ガラスくず、照明機器など分別している。 廃油、廃プラについては有価と分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記内容を継続する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃プラスチック(下記以外)	ガラスくず等(下記を除く)	木屑(下記を除く)	鋳さい(下記を除く)
103 t	4 t	204 t	3 t

②計画

廃プラスチック(下記以外)	ガラスくず等(下記を除く)	木屑(下記を除く)	鋳さい(下記を除く)
100 t	4 t	197 t	3 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

照明機器(蛍光灯)	パーソナルコンピューター	廃アルカリ	廃酸
0.1 t	3 t	158 t	0.1 t

②計画

照明機器(蛍光灯)	パーソナルコンピューター	廃アルカリ	
0.1 t	3 t	154 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ R5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	鉍物系廃油
	全処理委託量	330 t	640 t
	優良認定処理業者への処理委託量	330 t	640 t
	再生利用業者への処理委託量	330 t	640 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 油水分離により廃油発生量抑制 廃棄物の分別化の徹底 脱水処理装置による無機汚泥の減量化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃プラスチック(下記以外)	ガラスくず等(下記を除く)	木屑(下記を除く)	鋳さい(下記を除く)
103 t	4 t	204 t	3 t
3 t	3.6 t	0 t	3 t
102 t	3.6 t	204 t	3 t
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

照明機器(蛍光灯)	パーソナルコンピューター	廃アルカリ	廃酸
0.1 t	3 t	158 t	0.1 t
0.1 t	3 t	158 t	0.1 t
0.1 t	3 t	158 t	0.1 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	鉱物系廃油
	全処理委託量	320 t	620 t
	優良認定処理業者への処理委託量	320 t	620 t
	再生利用業者への処理委託量	320 t	620 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 油水分離により廃油発生量抑制 廃棄物の分別化の徹底 脱水処理装置による無機汚泥の減量化		
※事務処理欄			

②計画

廃プラスチック(下記以外)	ガラスくず等(下記を除く)	木屑(下記を除く)	鉋さい
100 t	4 t	197 t	3 t
t	t	0 t	3 t
99 t	4 t	197 t	3 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

照明機器(蛍光灯)	パーソナルコンピューター	廃アルカリ	
0.1 t	3 t	154 t	0 t
0.1 t	3 t	154 t	0 t
0.1 t	3 t	154 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t

前 年 度 【令和 5 年 度】 実 績

研 究 費						
種 別	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業振興等に資する事業等(特許料に要する費用)	産業振興等に資する事業等(特許料に要する費用)	経営企画部	担当部署の名称	担当部署の電話番号	FAX番号	担当部署の電子メールアドレス
研究費	研究費	経営企画部	担当部署の名称	担当部署の電話番号	FAX番号	担当部署の電子メールアドレス

産業振興等の種類	計 画 の 実 績 状 況										研 究 費					計 画 費	計 画 費	計 画 費	計 画 費	計 画 費
	①計画立案 (円)	②計画立案 済を利用した 金額(円)	③計画立案 済を利用した 金額(円)	④計画立案 済を利用した 金額(円)	⑤計画立案 済を利用した 金額(円)	⑥計画立案 済を利用した 金額(円)	⑦計画立案 済を利用した 金額(円)	⑧計画立案 済を利用した 金額(円)	⑨計画立案 済を利用した 金額(円)	⑩計画立案 済を利用した 金額(円)	⑪計画立案 済を利用した 金額(円)	⑫計画立案 済を利用した 金額(円)	⑬計画立案 済を利用した 金額(円)	⑭計画立案 済を利用した 金額(円)	⑮計画立案 済を利用した 金額(円)					
1 220 無職性汚泥	330																			
2 211 動物系廃油	630																			
3 600 廃プラスチック類(下記を除く)	100																			
4 1300 ガラスくず等(下記を除く)	4																			
5 800 木屑(下記を除く)	204																			
6 1400 紙くず(下記を除く)	3																			
7 2022 照明機器(蛍光灯)	0.1																			
8 3108 パーソナルコンピュータ	3																			
9 500 廃アルカリ(下記を除く)	150																			
10 400 廃紙(下記を除く)	0.1																			
11																				
12																				
13																				
14 ㊸																				
15 ㊹																				
16 ㊺																				
17 ㊻																				
18 ㊼																				
19 ㊽																				
20 ㊾																				
合計	1,445.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)「計画費」は調査費として四捨五入、ただし、赤字が算出された場合は以下半角まで記載は可。

